



## 確認事項

サポート隊発足時の原点にたちかえり、現役学生の皆さんの要望を最優先し、学校の存続と充実に向けたサポート活動に徹する。

- ① 学習環境上の課題解決をサポートする。
- ② レイカディア大学の存在を広く地域県民に知らしめる活動に取り組む。
- ③ サポート隊、学校当局、現役学生三者の連携を一層密にする。



## サポート隊年初調整会議開催

### 課題・テーマの整理検討される

平成二十五年初の調整会議が、藤居新隊長のもと、三部会の新役員、三学科二年の学科長に事務局の宿部長、瀧本事務員も参加し、一月十七日に開催。レイカディア大学米原校の存続と、充実のために、今後のサポート活動について、意

見交換が行われました。サポート活動のテーマや行事について、特に現役学生の皆さんの実情と、要望をもとに、具体的に検討し、問題点の整理を行いました。その結果、サポート活動の原点に立ち戻り、現役学生の要望を最優先

とすることと、三者（サポート隊、在校生の皆さん、学校当局）の連携を一層密にすることが確認され、今後も定期的な調整会議を開催することが決定しました。新役員と、確認事項は左の通りです。

## 新役員

隊長	藤居忠治	(三十二園芸)
副隊長	高木 淑	(二十八園芸)
同	松居伸二朗	(三十一園芸)
講座支援部会		
部会長	高木 淑	(兼)
副部会長	大蔵勢一郎	(三十二園芸)
同	眞壁栄禧	(三十二園芸)
総務・学生支援部会		
部会長	藤居忠治	(兼)
副部会長	児玉正孝	(三十二地文)
同	山岡 勉	(三十三園芸)
広報・情報部会		
部会長	松居伸二朗	(兼)
副部会長	中川義亮	(三十一園芸)
同	守野吉一	(三十三園芸)
在校生二年生学科長		
	福永治夫	(園芸)
	木村房忠	(生活科学)
	藤田英夫	(健・レク)

## 新隊長のメッセージ

### 米原校サポート隊隊長就任にあたって

サポート隊隊長(総務・学生支援部会長)

藤居 忠治



この度米原校サポート隊隊長となりました三十二期園芸学科卒業の藤居忠治でございます。他に適任者がおいでのことと思いき再三ご辞退申し上げたのですが、役員の方々の皆さまからの強い要請を受けお引き受けすることとなりました。

この大役が務まるかどうか心配しておりますが、幸い三部会の役員さんは皆さんベテランですので私の至らない点は各部長さんはじめ皆さんのご協力をいただいて任期を務めさせていただきます。

今更申し上げるまでもございませんが、我々サポート隊は、レイカディア大学の卒業生としての経験を活かし、事務運営や在学生の皆さんがスムーズに授業をうけられ、また活動できるようサポートさせていただくのが目的です。

その為には、いつ何を、どのように支援すべきかを協議し、三部会が一体となった活動を展開できれば素晴らしいと思っております。幸い、前年度の役員皆さんが試行錯誤しながら、活躍いただき、サポート活動の方向付けと、問題や課題を突き止めていただいておりますので、それを引き継ぎ、より充実した活動を目指して頑張りたいと思っております。

お引き受けいたしましたからには、できるだけのことばはやるつもりでおりますので、どうぞ、皆さんのご協力をお願い申し上げます。

なお、松居前隊長をはじめ役員さまのご苦勞に対しまして心からお礼申し上げます。今後もサポート隊のためにご助言やご指導を賜りますようお願い致します。



# サポート隊活動

支援項目	担当部会	検討・決定事項
36期生募集	全部会	・同窓会、現役学生、サポート隊が協力して、学校当局と連携を取りながら推進する。
必修講座時の事務支援	講座支援部会	・事務員増員があり、支援は終了する。
レイ大米原校交流講座	講座支援部会	・レイ大学生とOBの親睦を目的とする。 ・9月に希望が丘公園での「きのこ観察会」を予定。 ・7月に具体的な案内を行う
甲良養護学校果樹園管理サポート	講座支援部会	・学校当局と、園芸実習との関係や養護学校の意向等を再確認の上、再検討し、あらためて提案する。 ・実施方法は、実習活動とクラブ活動とに区別する。
地域活動体験発表	総務・学生支援部会	・現役学生の要望を把握し、それにもとづいて、内容・方法等、学校当局と検討する。
大学祭（成果発表会）	全部会	・学生主体で運営する。 ・地域住民への告知推進など、学生と連携し、同窓会の協力もえて、サポートする。 ・正副部長会議(3/27)で対応を協議する。
パソコン入門講座	広報・情報部会	・実施計画を作成し、学生の皆さんに提示し、講座のニーズの有無、程度を確認する。そのうえで具体化の検討に入る。
ホームページ管理運営	広報・情報部会	・メンテナンスを早急に行う。

## 前隊長退任のしあわせ

米原校にサポート隊が発足して約二年が経過しました。その間、皆様にはサポーターとして支援活動にご協力いただき有難うございます。特に、学生募集時には多大のお力添えをいただき感謝いたします。

二十三年度(三十四期生)は特に応募者数が定員を大幅に割り学科によっては草津校との統合授業が実施されるなど厳しいスタートとなりました。このような状況が続けば存続が危惧されていたところでしたが、幸いに三十五期生の募集期には関係者の方々が危機感を持って「ひとりが一人の応募者を・全員で取組もう」を目標に活動をしていただいたおかげで募集定員に対して七十九%の充足率を達成することが出来ました。

今後は、もっとレイ大の魅力や知名度を広く外部に向けて発信してゆくことが課題でもあり肝要ではないかと思っております。「サポーターって一体なにをするの?」とよく言われますが前述したような事柄も役割の一つではなからうかと考えます。

今回、役員改選によりその任を退くことになりました。十分に責めが果たせずご迷惑をおかけしたと存じますが、今日までのご支援ご協力に対し衷心より厚くお礼を申し上げて退任のご挨拶といたします。

(米原校サポート隊前隊長  
松居伸二朗)



## 編集後記

サポート隊通信をお届けするにあたって、発行が大変遅れたことをお詫びします。

サポート隊発足二年間でやっと三号の発行です。

言い訳をさせて頂くなら、サポート活動自体が初めての経験で、混乱気味であり、何を皆様に伝えるべきかが明確になりにくかった結果、通信の発行が遅れ遅れとなった次第です。

今回藤居新隊長のもと、現役学科長、同窓会も交えた調整会議が開催され、混乱の解消策が話し合われ、学生、学校、サポート隊の連携を一層強める事が確認されました。

会議の結果をお届けします。今後のサポート活動の参考にしていただきたいと思います。

(広報・情報部会 中川記)

滋賀県レイカディア大学米原校

## サポート隊通信

平成25年3月1日第3号

発行：滋賀県レイカディア大学米原校サポート隊

(広報・情報部会)

□米原市下多良2-137(県立文化産業交流会館)

滋賀県レイカディア大学米原校内

□電話：0749-52-5110